

No.511

2017.4.17

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース



岐阜県金属工業団地協同組合



3月度月例会開催

3月27日(月)の正午より、組合研修センター3階の集会室において3月度月例会が開催されました。今回は講師に、デロイトトーマツ税理士法人 税理士 柴田祐介氏をお迎えし、『平成29年度税制改正について』をテーマにご講演いただきました。



消防訓練実施

3月13日(月)の正午より、(株)和井田製作所の西側にあります貯水槽を使って、金属団地自衛消防隊による放水訓練を行いました。直近の消防訓練は2回連続の雨天でしたので、放水訓練は1年半振りとなります。久しぶりとなる訓練でしたが、現場に着いてからの一連の動きには迷いがなく、稼働ポンプの作動や放水も積極的に交代して充実した訓練となりました。



昭和51年9月12日

すでに40年も前の事だから大分記憶がうすれてきたけれど、鮮明に目に焼きついているワンカットがある。

4日も降り続いた雨がようやく小やみになり水が少しずつ引き始めたようであった。東側の出窓に打ち付けてある棧に何かが引っ掛かっているのがガラスに顔を近づけてギョッとした。太い蛇が巻きついていたのである。いつもの広々とした畑がどこまでも水浸しだから蛇も驚いたに違いない。泳ぎ疲れてやっとここに辿りついたことだろう。

昭和51年の安八水害の時のことである。当時私は忠節橋を西に下った近島という所に住んでいた。夕方近くに町内会の波多野さんが来て若しかすると玄関の中まで水が来るかも知れないから注意をせよとのふれであった。夕食をすませて床に就いたのは何時頃であったか覚えていないが寝返りをした時に異常を感じて飛び起きた。その時にはすでに50センチ位の水が上がっていたのであった。背広やカメラなどを大急ぎで2階に運び上げた。女房の和筆笥が2階にあったのは幸いであった。当時“ベスとボギー”と名付けたスピッツの夫婦を飼っていたが彼らは早くも階段の途中にちゃっかり避難しているのであった。停電で真暗な上に水はまだどんどんと上がってくるようであった。

奥美濃では3日間に千ミリもの雨が降ったというからこれはもうどうしようもないと半ばやけっぱちな気持ちでまどろんでいた真夜中の12時頃、1階でガシャーンというとても大きく大きな音がしたのである。誰かいるかも知れないから見に行けという女房の声はふるえていた。パンツ一丁になり階段のスピッツを蹴飛ばさないようにそろそろと降りたところで目に飛び込んだのは大きな白い物体であった。それは何と横倒しになって水に浮かぶ冷蔵庫だったのである。中のビールを飲む気にならなかったのは下半身がベトベトとしてとても気持ちが悪かったからであった。懐中電灯でよく見れば家の中全面に油が浮いていたのであった。昨晚の夕食は天ぷらだったのだ。

翌日の午前だったろうか水防団の刺し子を羽織った男が二人で漕ぐ舟が現れた。道に面した風呂の屋根の下につけて島小学校まで運ぶから早く乗れという。2階の物干し場からスピッツを1匹ずつ連れてトタン屋根を恐る恐る降りて行った。女房が先に乗り込んだところで男が「犬は駄目だ」と居丈高に言う。反射的に私は「・・・俺は行かない」と言った。男が「2度と来られないからナ」と言い放って舟を出した。去っていく舟を見ながらこの状態は一体いつ迄続くのだろうという不安が頭をよぎったが、いざともなればドッグフードとサントリーオールドも2、3本あるから大丈夫だと言い聞かせた。

日本人はとかく規則を作るのが好きでそれを律儀に守るのが美德だと思っている。原子炉が壊れたので離れろという、放射能漏れがひどくとても人が住める状態ではないという、これは2年や3年で終息するものではないから仮設の住宅を用意するが犬猫を連れての入居はまかりならぬという。人間が生活することが不可能なところで犬や猫や牛や馬などが生きられないのは自明である。一体どうしろと言うのだ。

ゴーストタウンと化した街の中を主人の姿を求めてどこまでも必死で歩き続ける犬。放射能にやられて絶命した犬。鎖に繋がれたまま餓死した犬。想像するだに全くやりきれない思いである。

廃炉にするための費用と除染に要する費用に加え、さまざまな保証のための総額は何兆円にも及ぶということである。小さな命を救うために避難用の犬舎がどうして造られないのか不思議である。若しこのような事態が出来たならばドイツやフランスそしてイギリスなどが如何なる対処をするのだろうか知りたいと思う。何千年にもわたって築き上げてきた犬との「絶対の信頼」という遺伝子にいささかの齟齬※をきたしてはならない。

※齟齬(そご)(歯が合わない意) 行き違い、食い違い



青年部工場見学

3月7日(火)、愛知県豊川市にあるオーエスジー株式会社へ工場見学とタップ基礎講習の受講に8名の青年部会員が参加しました。

工場見学では、自動車エンジンの精密ねじ加工などに使われるタップは、めねじ(穴の内側のねじ)をつくる工具で世界シェアNo.1の工場を見学しました。工場に入ってまず驚いたのは、工作機械の台数の割に人の数が少ないことでした。聞けば「自動化の為、タップ加工の工作機械は創業より社内製作している。」とのことでした。仕事に合わせた工作機械を製造・改造できるので、どうりで人が少ないはずです。土地柄、QCサークルやカイゼン活動も盛んで「なるほど!」と思わせるようなカラクリが随所にあって、大変勉強になりました。

タップの基礎講習では、タップの種類別によるねじ切削のしくみを基礎から教えて頂き、普段の仕事において発生する悩みを積極的に質問させてもらいました。講習の後には、最近の流行ででしょうか? ハンドタップによるねじ切り体験まで設けて頂き、実際に体験しながらの説明は、一目瞭然でとても分かり易い講習となりました。

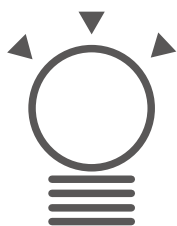
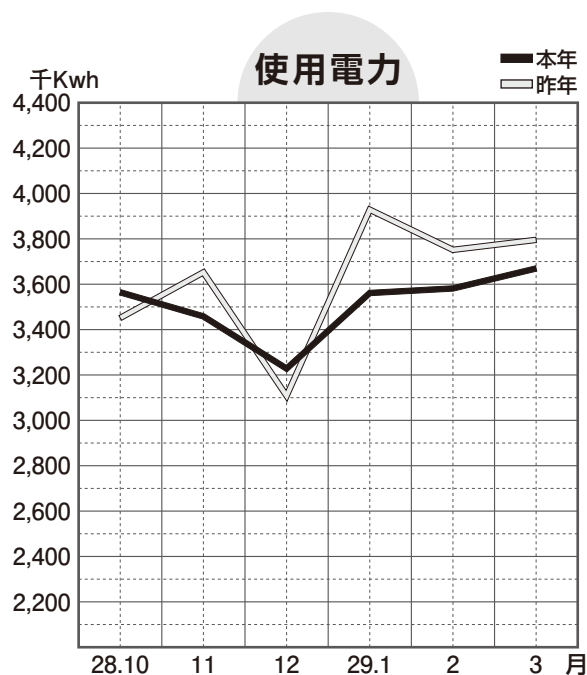
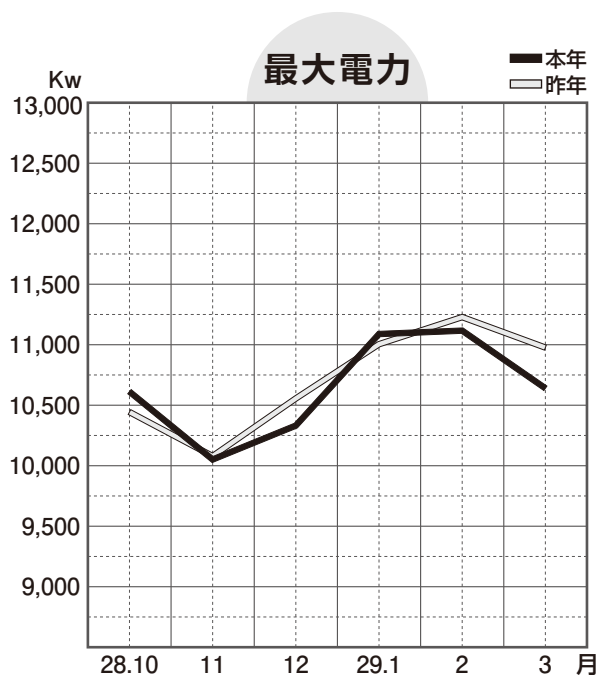
移動も含めると1日がかりの事業でしたが、参加した青年部会員にとっては、自身や会社を持ち帰るもののある事業になったと思います。





お知らせ

平成 29 年 3 月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう !!

電気事故防止

電気使用場所の設備では

- 電線類の被覆が損傷して露出していないか
- 移動して使用する機器にはキャプタイヤケーブルを使用しているか
- スイッチやコンセントカバーの無いものや破損して充電部が露出しているものは無いか

人命を守るために

- 漏電遮断器やアースを取り付けましょう
- 充電部分の露出は感電の元
- 破損した器具類は早く取り換えましょう
- 高圧充電部には接近しないようにしましょう
- 受電室・キュービクルには高電圧危険等の表示をして注意を促しましょう

行事予定

2017 **4** April

16 日	
17 月	月例会・役員会
18 火	岐阜南間税会役員会
19 水	岐阜県中小企業団体中央会理事会
20 木	各務原給食センター組合解散に関する臨時総会
21 金	
22 土	『組合休日』
23 日	
24 月	労務委員会
25 火	青年部定時総会&懇親会
26 水	総務委員会
27 木	業務委員会 平成29年度第1回役員会(理事会)(工団連)
28 金	環境委員会
29 土	『組合休日』
30 日	

2017 **5** May

1 月	
2 火	
3 水	『憲法記念日』
4 木	『みどりの日』
5 金	『こどもの日』
6 土	『組合休日』
7 日	
8 月	財務委員会
9 火	
10 水	
11 木	
12 金	監査
13 土	『組合休日』
14 日	
15 月	役員会



■ 5月の行事予定

5月26日 第56期金属団地通常総会並びに懇親会
5月27日 総会記念ゴルフ

■ 3月度金属団地ゴルフ会

3月25日 関ヶ原カントリー倶楽部
優勝 小沢章博(団地組合) 2位 高橋敏博(高橋鋳造所) 3位 松原伸五(MTK)

<http://www.g-mecca.jp>

G-MECCA

GIFU METAL ENGINEERING COMMUNITY COOPERATIVE ASSOCIATION

